

なくす会 東西南北

(1面の続き)

「ノー消費税」

悲願の50部超えを達成

かつて読者の大半は新婦人支部役員、その後、学習会などで増えたものの高齢化などで読者が減少し、30人台に終始してきました。

昨年の総会後、悲願への再挑戦を試み、仕事仲間にも呼びかけて40人台に到達。今回、東京土建村山大和支部から「ノー消費税」を支部常任委員用に購読すると連絡がきて、64人となったもの。

しかし10%への増税をやめさせ、5%に引き下げさせる課題を成功させるには、小さな町とはいえ7万を超す市民に声を届けるにはまだ力不足。会員と読者の拡大は急務でとりあえず、消費税に関心をもつ多くの団体に目

を向けた新たな取り組みに着手し、3ヶタの読者と4ヶタの会員への新たな悲願を夢みています。

ピラ受け取り次々

大阪・吹田市の「会」が宣伝

大阪府吹田市の千一片山山手の会は7月24日、JR吹田駅北口で定例宣伝をおこないました。15人が参加し、のぼりと横幕、消費税をなくす会のエプロン着用など準備をととのえ行動しました。駅に出入りする人がピラをどんどん受け取ってくれ、署名も12人から寄せられました。

「自民もつと減らしたかった」

東京・杉並の会の宣伝に

東京都の杉並の会は7月24日、阿佐ヶ谷駅で宣伝行動をし、「景

気を冷やす仕組みが消費税。消費税の引き上げなんて許せません」と訴えました。

最初に署名した女性は「都議選では自民党が減ったけどもつと減らしたかった」と語り、高齢の男性は「消費税増税はダメ。頑張ってくれ」ときっぱり話しました。

各地で宣伝

山口県の会

「2019年10月からの消費税10%は絶対に許さない」と山口県の会の山口、宇部、下関など各地の消費税をなくす会は、7月も猛暑のなか各地で宣伝署名行動を展開しました。

30分で34人の署名

愛媛の会の宣伝行動に

愛媛の会の宣伝行動に8団体が参加、30分の訴えでしたが、34人から署名が寄せられました。同会では「全国の会」が作製

したポスターを50枚活用しています(写真)。



ポスター残りわずか

「全国の会」が作製したポスター(写真)の在庫が残りわずかとなってきました。

(1枚頒価100円)



